

CASBEE 広島 2016年版
ザ・パークテラス段原

■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階		評価点		重み係数		評価点		重み係数		全体
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質												3.0
Q1 室内環境					0.40		-					3.1
1 音環境				3.0	0.15	3.0	1.00					3.0
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.50	3.0	0.50					
1.2 遮音				3.0	0.50	3.0	0.50					
1 開口部遮音性能				3.0	1.00	3.0	0.30					
2 界壁遮音性能				3.0	-	3.0	0.30					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20					
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20					
1.3 吸音				3.0	-	3.0	-					
2 温熱環境				1.6	0.35	3.3	1.00					2.9
2.1 室温制御				1.0	0.50	3.7	0.50					
1 室温				1.0	0.63	3.0	0.63					
2 外皮性能		日本住宅性能表示基準「5-1断熱性能等級」等級5確保		1.0	0.38	5.0	0.38					
3 ゾーン別制御性				3.0	-	3.0	-					
2.2 湿度制御				1.0	0.20	3.0	0.20					
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	0.30					
3 光・視環境				2.0	0.25	3.5	1.00					3.1
3.1 昼光利用				1.8	0.30	4.0	0.50					
1 昼光率		住宅の昼光率2.0%以上確保		1.0	0.60	5.0	0.50					
2 方位別開口				3.0	-	3.0	0.30					
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.20					
3.2 グレア対策				1.0	0.30	3.0	0.50					
1 昼光制御				1.0	1.00	3.0	1.00					
3.3 照度				3.0	0.15	-	-					
3.4 照明制御				3.0	0.25	-	-					
4 空気質環境				3.6	0.25	3.3	1.00					3.4
4.1 発生源対策				4.0	0.60	4.0	0.63					
1 化学汚染物質		室内に使用する建材は全て(F☆☆☆☆)を採用		4.0	1.00	4.0	1.00					
4.2 換気				3.0	0.40	2.3	0.38					
1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33					
2 自然換気性能				3.0	-	1.0	0.33					
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0	0.33					
4.3 運用管理				-	-	-	-					
1 CO ₂ の監視				3.0	-	-	-					
2 喫煙の制御				3.0	-	-	-					
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-					3.2
1 機能性				2.3	0.40	3.8	1.00					3.4
1.1 機能性・使いやすさ				1.0	0.40	5.0	0.60					
1 広さ・収納性				3.0	-	3.0	-					
2 高度情報通信設備対応		1Gbitクラスのブロードバンドが利用可能な環境を整備		3.0	-	5.0	1.00					
3 バリアフリー計画				1.0	1.00	-	-					
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	2.0	0.40					
1 広さ感・景観				3.0	-	3.0	0.50					
2 リフレッシュスペース				3.0	-	-	-					
3 内装計画				3.0	1.00	1.0	0.50					
1.3 維持管理				3.5	0.30	-	-					
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-	-					
2 維持管理用機能の確保		維持管理の機能を確保		4.0	0.50	-	-					
2 耐用性・信頼性				3.0	0.30	-	-					3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-					
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-					
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-					
2.2 部品・部材の耐用年数				3.5	0.30	-	-					
1 躯体材料の耐用年数		住宅性能評価基準「劣化対策等級」等級3 取得予定		5.0	0.20	-	-					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20	-	-					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				2.0	0.10	-	-					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		期待耐用年数 40年以上		5.0	0.20	-	-					
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-					
2.4 信頼性				2.4	0.20	-	-					
1 空調・換気設備				1.0	0.20	-	-					
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20	-	-					
3 電気設備				3.0	0.20	-	-					
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-					
5 通信・情報設備				3.0	0.20	-	-					

3 対応性・更新性			3.0	0.30	3.1	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり			-	-	3.2	0.50	
1 階高のゆとり		階高 2900mm以上 確保	3.0	-	4.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ			3.0	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.8
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		日本住宅性能表示基準「5-1断熱性能等級」等級5確保	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm]: 0.73	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		節水型の水栓・節水型便器を採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.2	0.60	-	-	3.2
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		磁器質タイル・ビニル床材	4.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上材が容易に分別可能となっている	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォームA種1Hを採用	4.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出量を低減	5.0	0.33	-	-	5.0
2 地域環境への配慮			2.4	0.33	-	-	2.4
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制		適切な駐車・駐輪台数の確保	4.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		光害対策ガイドラインのチェックリストの過半を満足、広告物照明設置無	5.0	0.70	-	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	